ともしび
2008.7
第44号
大学婦人協会東京支部

・東京支部総会報告
・記念講演「新しい家族紛争と司法手続の課題」
・インド音楽「タブラとシタールの陽春のつどい」

支部長挨拶
「東京支部の発展をめざして」

東京支部長　森川　淳子

皆さま、こんにちは。東京支部長を再度お引き受けすることになりました。新しいメンバーを加え気持ちを新たに活動してまいりますので、今後ともよろしくご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

4月6日の第51回通常総会で、第7号議案が可決されました。文科省の認可、さらに法務局への登記を経て定款が発効され、夏頃には「大学女性協会」になります。今後は公益社団法人の認定を目指して、特別委員会を中心にさらなる定款の改定、規約、財務諸表等の見直しが続きます。それに伴い東京支部規約の変更も必要となります。来年の支部総会に提案させていただきます。また本部と支部の間のお金のやり取りがわかりやすいものであるようにとのご指導の下、予算の形式が一部変わりました。ご確認くださいませ。

昨年4月には441人いた支部会員も今は415人となりました。このままですと今年度中に400人を割るかもしれません。先輩達のご努力により60年という長きに亘り続いてきたJAUWを次の世代に引き継いでいくためには会員の増強が最大、緊急の懸案です。お一人お一人が危機感を持ってお仲間になってくださる方をお誘いくださいませ。支部の委員会だけで何とかなることではありません。よろしくお願いいたします。

会員数の減少、委員会のメンバーの減少の中で公益性のある活動を求められており、支部で計画する行事も見直しが求められています。近隣支部との共同開催ということもあるでしょう。多くの方にご参加いただけるような企画を考えてまいりますが、皆様にもご意見、企画等、ご提案くださいませ。

支部委員会をどうぞ暖かくお見守りいただき、さらなるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

東京支部総会報告

前書記　桑折　美子

2008年度東京支部総会は4月12日(土)、津田ホール内会議室で開催された。

支部正会員数415名中、出席者数49名、有効委任状提出者数200名で総会は成立した。

森川支部長の第51回通常総会報告と新会員増強への協力支援要請の挨拶に続き議事に入った。2007年度事業報告、決算報告及び会計監査報告が承認され、次いで2008年度事業計画案、予算案が審議承認された。支部長継続と新役員の承認、新委員の紹介後議事は終了した。

続いて、房野会長より「会長在任中は絶えず世界に目を向け、国連、国連NGOと足並みをそろえて活動していきたい」とのお言葉をいただき総会は終了した。

記念講演は、首都大学東京法科大学院非常勤講師、若林昌子氏の「新しい家族紛争と司法手続の課題－代理出産をめぐる最高裁判例を手がかりに－」という演題で行われた。生殖補助医療に対する様々な見解から、人間の尊厳とは?を再考させられた。

2007年度㈳大学婦人協会東京支部決算報告書

2007.4.1～2008.3.31

収入の部

科目	予算額	決算額	差異	備考
Ⅰ 会費収入	1,152,000	1,162,000	10,000	387口＋1000円
Ⅱ 事業準備金利息収入	3,860	7,854	3,994	
Ⅲ 運用金利息収入	500	1,676	1,176	
Ⅳ 寄付収入	300,000	292,158	−7,842	バザー　サークル 講演会一般参加費 他
Ⅴ 雑収入	38,000	70,600	32,600	入会還付金　賛助会 員還付金　発送費
Ⅵ 事業準備金取崩収入	500,000	500,000	0	
A 当期収入合計	1,994,360	2,034,288	39,928	
B 前期繰越金	307,550	307,550	0	
C 収入合計(A＋B)	2,301,910	2,341,838	39,928	

支出の部

科目	予算額	決算額	差異	備考
Ⅰ 管理費	1,030,000	851,089	−178,911	
(1) 備品費	10,000	1,029	−8,971	
(2) 消耗品費	90,000	30,340	−59,660	コピー代　用紙　他
(3) 印刷製本費	50,000	19,400	−30,600	封筒　他
(4) 通信費	280,000	203,370	−76,630	支部のお知らせ ともしび　本部会報 他
(5) 交通費	30,000	26,950	−3,050	発送交通費補助
(6) 本部への分担金	570,000	570,000	0	本部への分担金
Ⅱ 運営費	120,000	103,321	−16,679	
(1) 総会費	80,000	77,055	−2,945	会場費　他
(2) 委員会費	40,000	26,266	−13,734	
Ⅲ 事業費	610,000	616,966	6,966	
(1) 一般事業費	500,000	516,966	16,966	ともしび(2回) 講演会　寄付　他
(2) 国内奨学金	100,000	100,000	0	国内奨学金寄付
(3) 調査研究費	10,000	0	−10,000	冊子代　他
Ⅳ 雑費	10,000	0	−10,000	
Ⅴ 予備費	10,000	0	−10,000	
D 当期支出合計	1,780,000	1,571,376	−208,624	
E 当期収支差額(A−D)	214,360	462,912	248,552	
F 次期繰越金(C−D)	521,910	770,462	248,552	

事業準備金状況：　普通預金　¥3,860,000　中央三井信託銀行新宿西口支店
運用金状況　：繰越金　普通預金　¥720,654　中央三井信託銀行新宿西口支店
現　金　¥49,808

会　計　田辺範子　浜田和子

厳正に監査致しました結果、正確に記載されており、間違いないことを証明致します。
2008年4月9日　　会計監査　三浦由紀子　佐々木澄子（印省略）

2008年度予算

2008.4.1～2009.3.31
（単位　円）

科目	予算額	備考
Ⅰ 会費収入	3,285,000	365口×9000円
Ⅱ 事業準備金利息収入	7,720	
Ⅲ 運用金利息収入	1,600	
Ⅳ 寄付収入	300,000	バザー　サークル 講演会一般参加費 他
Ⅴ 雑収入	20,000	入会還付金 賛助会員還付金
Ⅵ 事業準備金取崩収入	0	
A 当期収入合計	3,614,320	
B 前期繰越金	770,462	
C 収入合計(A＋B)	4,384,782	

科目	予算額	備考
Ⅰ 本部会費	2,190,000	365口×6000円
Ⅱ 管理費	960,000	
(1) 備品費	20,000	
(2) 消耗品費	80,000	コピー代　用紙　他
(3) 印刷費	50,000	ハガキ　封筒
(4) 通信費	230,000	発送費　他
(5) 交通費	30,000	発送交通費補助
(6) 本部への分担金	550,000	本部への分担金
Ⅲ 運営費	110,000	
(1) 総会費	80,000	会場費　他
(2) 委員会費	30,000	
Ⅳ 事業費	560,000	
(1) 一般事業費	450,000	ともしび（2回） 講演会　寄付　他
(2) 国内奨学金	100,000	国内奨学金寄付
(3) 調査研究費	10,000	準備金
Ⅴ 雑費	10,000	
Ⅵ 予備費	10,000	
D 当期支出合計	3,840,000	
E 当期収支差額(A−D)	−225,680	
F 次期繰越金(C−D)	544,782	

※2008年度予算の「Ⅰ本部会費」は新設の科目です。

事業報告・予定

4・5　JAUW第51回通常総会
6　於・大阪
4・12　東京支部総会
記念講演「新しい家族紛争と司法手続の課題－代理出産をめぐる最高裁判例を手がかりに－」
講師　若林昌子氏
5・10　守田科学研究奨励賞贈呈式
6・24　講演会「六条院女楽の装束－赤青対比の身分的倒錯から何を読み取るか－」
（神奈川支部と共催）
講師　森田直美氏
7・1　東京支部会報「ともしび」第44号発行
8・15　見学会「横浜ローザ」観劇
10・25　シンポジウム（女性と仕事の未来館ホール）
11・26　講演会　講師　平木典子氏
12　第8回自然科学講演会（科学研究奨励委員会と共催）
1・10　新春のつどい・国内奨学金贈呈式
3・1　東京支部会報「ともしび」第45号発行

以後の事業は追ってお知らせします。

〈東京支部総会記念講演会〉
（'08・4・12）

「新しい家族紛争と司法手続の課題ー代理出産をめぐる最高裁判例を手がかりにー」

講師　若林　昌子氏

子どもができない夫婦が、自分達の子を持ちたいという願いは古今東西切実なものであった。近年の生殖補助医療は、商業主義の跋扈と相俟って代理母契約による出産を可能とした。現行法制度の下で、この契約によって生まれた子の親は誰になるのだろう。

法曹界、学界で広くご活躍の若林昌子先生にこれから派生する問題を法律的な観点からお話いただいた。

先生は二つの代理母の判例を示された。一つは代理出産契約が認められているカリフォルニア州で夫の精子と第三者の卵子によって他の第三者が懐胎・出産し、生まれた子を夫妻の子として届け出た例。このケースでは妻の年令が50代なのでいぶかしく思った戸籍係によって事実が発覚。この妻は法律上母でないと判断された。もう一つは夫の精子、妻の卵子によって第三者が懐胎・出産した向井亜紀さんの例。これもネバダ州の裁判所で夫と妻が父・母との判決を得た上で、血縁上の母が法律上の母として認められるべきと主張したがこの判決は我が国の公序に反するので無効とされた。

これら二例からわかるように代理母契約の出産の場合も、法的な母子関係は「分娩者＝母」ルールの原則通り代理母が母となる。父子関係は、妻が妊娠・出産したのではないから、血縁上父子とわかっていても法律上の父の推定は働かない。従って認知が必要となる。もし、代理母が婚姻していればその夫が父と推定されるので嫡出否認をしてもらう必要を生じる。

法律上の親子と血縁上の親子とは必ずしも一致するものではないことは「わらの上からの養子」の例からも見てとれる。

欧米では代理母契約をどう扱っているのだろうか。英国とスウェーデンは営利的契約禁止、ドイツとフランスは有償・無償を問わず禁止、さらにドイツは違反には刑罰。アメリカは有効州、有償無効州、無効州の三種があり、代理母を求める夫婦を国外からも集めている。

代理母は我が国でも波紋を広げ、科学審議会・日本産婦人科学会は禁止、法務省関係は代理懐胎契約無効、日本学術会議は原則禁止との意見を出した。

結論として、生む権利の主張は子の福祉と第三者の人権を優先して考えるべきである、家族間のトラブルを最後に守るはずの法制度がそれに追いついていないのが現状である、この問題を社会全体の問題として捉え、私たちの意見を立法に反映することが重要だと述べられた。

（松岡　幸子）

☆お知らせ☆
2009年度東京支部総会
2009年5月16日㈯
於・津田ホール1階会議室

大学婦人協会東京支部 2008年度役員・委員名簿

支部長　森川　淳子（茶）
副支部長　芦沢紗知子（日女）
　　松岡　幸子（東女）
書記　今村　麻子（東女）
　　田辺　範子（茶）
会計　鈴川　佳子（奈女）
　　浜田　和子（東女）
会員係　○村木　晴子（津）
　　細貝久美子（茶）
講座・見学係　○堀内　洋子（津）
　　塩沢　正子（高知女）
　　●砂村栄利子（東都）
　　●竹井香州子（津）
　　野口紀美子（日女）
ともしび係　○早瀬　暢子（津・院）
　　●小澤　紀子（奈女・九院）
バザー係　●酒葉美智子（神戸外）
　　○三浦　洋子（実・慶）
　　岩田　良子（日女）
　　●大村　礼子（慶）
　　玉澤　淑子（日女）
　　三浦由紀子（茶）
会計監査　佐々木澄子（東女）

●印　今年度からの新委員
○印　各係チーフ

第51回通常総会報告

前副支部長　早瀬　暢子

第51回通常総会は4月5～6日、大阪支部主催でリーガロイヤルホテルで開催された。初日は、評議員会、支部長懇談会に続いて、夜は懇親会が行われた。大阪支部会員の下川勢津子氏による源氏物語千年紀にちなんだ優雅な仕舞「源氏供養」、ホテルのダンスチームによるエネルギッシュなハワイアンフラ鑑賞の楽しいひとときを過ごした。

翌6日は総会。東京支部からは57名が出席した。例年通り、田中会長を議長に選出し、各委員会、各支部からの活動報告、決算報告、予算案承認、新役員の承認等が行われた。各支部からは、北は札幌から南は長崎支部まで臨場感あふれる積極的な活動報告があった。

昼食をはさんで、名称変更に伴う定款変更案（第7号議案）の採決にはいった。採決に先立ち、阿部副会長から変更事項について詳しい説明があり、賛成多数で第7号議案は承認された。続いて、懇談にはいり、田中会長から、支部あってこその大学婦人協会であり、役員選考規定を作り、会員はだれでも希望すれば役員候補者を推薦することができる方法を検討し、また、公益社団法人になるに当たって、会員からの意見をすくい上げる方法を考えたい。IFUWとJAUWの関係を会員に知ってもらう努力をしたいというお話もあった。また、第7号議案の定款変更については、文言の修正は委員会に一任することを承認した。

㈳大学婦人協会がいよいよ公益社団法人を目指し、大学女性協会として出発する第一歩を踏み出した感を強くした総会であった。

7日は、大阪支部主催のバスツアーがあった。大阪城、万博記念公園を回る桜満開の見学会であったと聞いている。

〈大阪支部主催見学会〉「大阪食い倒れ　文字通り始末記」

想定外の初体験もありましたが、二〇〇八年JAUW総会の翌日、四月七日のバス・ツアーでは、大阪支部のお心づくしにより、世界中の人に観てもらいたい国立民族学博物館と大阪城とを一挙に見学し、充実した時間を過ごしました。遅くなりましたが、御礼申し上げます。

蔵屋敷なりし辺りの暁に米取引の枡の夢に醒む

わが夫に四半世紀の縁ありし中之島なれど異界のごとし

狛犬のように阿吽の対をなし獅子の像あり橋の袂に

ガラス張りの建物増えるこの商都に隠しわざ滅らば末は危うし

水面に近きところの石垣に藻のいろ乾き春雨を待つ

花の道を「ロードトレイン」進み行く夢見心地のわれらを乗せて

寺跡に建ちにし昔の地の縁を今に受け継ぐ天守閣ミュージアム

豊かなる三角州上の楼閣に霧を透かして山地を眺む

「夏の陣」匿名の絵師は伝説の人にあらずや君の家系の

「深奥的中国」開館三〇周年記念特別展では、娘達を美しく飾りたい気持が、少数民族にこそ深いこと、微笑ましく、共感いたしました。

（ときえだひろこ）

〈東京支部講演会〉

（'08・3・24）

「タブラ（太鼓）とシタール（弦楽器）の陽春のつどい」

講師　森山　繁氏
国分　明子氏

今年度最後の講演会は、標題のような異色のイベントとなりました。

タブラ奏者の森山繁氏は、クルター（丈の長めの上着）とドーティ（一枚の布を一見、キュロットのように巻きつけた腰布）という民族衣装に身を包んで登場。氏の前には、右手用の木製のやや小ぶりなタブラと、左手用の金属製のやや大きめなタブラがセッティングされています。

シタール奏者の国分明子氏は、サリー姿。シタールはかぼちゃで作られた弦楽器だそうですが、目を引くのは、共鳴部が上下、二箇所に付いていることです。

演奏に先立っての森山氏のお話は、宗教、政治、民族、言語、教育と多岐に亘り、古典音楽の刻む複雑な拍子は、インド民族の数学的能力の高さを誇示しているものでもある、といったような興味あふれる話が次々と展開され、尽きるところを知りません。

演奏を所望する聴衆が痺れを切らせかけた頃、ようやく演奏開始。タブラは、両手で弾むようなリズムを刻み、シタールは、ギターのような奏法で、二〇本の弦のうちの演奏用の七本の弦を使って哀愁を帯びた音色を醸し出します。両者のコラボレーションによるリズミカルな心地良い響きに耳を傾けているうちに、あっという間に終演の時間。

もっとゆったりと演奏に身を委ねていたかったという私の思いは、一瞬にして断ち切られました。『悠久の歴史を誇るインドのトークと演奏には、あまりにも時間が短すぎた』。講師も聴衆も同じ思いで、会場を後にしたのではないでしょうか。

（鈴川　佳子）

サークル紹介

★英語講座
- 第一・第三金曜日　午前十時～十二時
- 大久保地域センター三階
- 講師・松本節也元法政大学教授
- 「さし絵入り英国史」を講読中。講師による詳細な訳註、ヒアリング用のテープ、参考資料をもとに輪読しています。
- 連絡先・中山正子（☎〇四五－五四一－二四八一）

★楽しい俳句会
- 第三水曜日　午後一時半～三時半
- 津田塾大学同窓会・会議室
- 講師・柴崎富子会員
- 柴崎先生の熱心なご指導のもと楽しく俳句を作っています。メンバーを若干名募集中です。
- 連絡先・小池朋子（☎〇四五－九〇二－九七三〇）

★源氏物語を読む会（Ⅰ）
- 第三・第四水曜日　午前十時半～十二時半
- 津田塾大学同窓会・会議室
- 講師・坂上栄美子会員
- 宇治十帖「宿木」を読んでいます。
- 連絡先・平田宏子（☎〇四－七一四三－一五七三）

★源氏物語を読む会（Ⅱ）
- 第二・三・四火曜日　午前十時～十二時
- 津田塾大学同窓会・会議室
- 講師・坂上栄美子会員
- 宇治十帖「宿木」を読んでいます。
- 連絡先・中山律子（☎〇三－三三三六－四六二八）

★水墨画教室
- 第二木曜日　午後一時半～三時半
- JAUW事務所会議室
- 講師・日高絹子（絹紅）会員
- 初心者歓迎
- 若干名余裕があります。
- 連絡先・森川淳子（☎〇四五－五八三－三四三〇）

◆会費納入のお願い

大学婦人協会はみなさまの会費で成り立っています。会費未納の方は、用紙の「振込みのご案内」を参照の上、どうぞお早めにお振り込みくださいますよう、お願い申し上げます。

〈今年度からの新委員〉〝どうぞよろしく〟

このたびはお仲間に加えていただき、ありがとうございます。現在、現役で仕事を抱えておりますので、私のできる範囲でお手伝いさせていただこうと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

大村　礼子

「ともしび」を担当することになりました。最新の仮名遣いを見直すいい機会かとも捉えて、先輩の足を引っ張らないように努力します。

小澤　紀子

このたび「ともしび」発行のお手伝いをさせていただくことになりました。パソコンが苦手で、内心とても不安なのですが、これを機に、できることを少しずつ増やしてゆけるといいなと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

酒葉　美智子

このたび、委員を引き受けることになりました。まだ日は浅いのですが、自分がなにかのお役に立っているというよりも、皆様からいろいろなものをいただいているような気がしてなりません。よろしくお願いいたします。

砂村　栄利子

ひょんなことから三浦由紀子様と出会い、JAUWの存在を初めて知りました。組織の活動を伺い、微力ながらなにかお役に立てることがあればと入会させていただきました。活動を通じてさまざまな方々との出会いや新たなる世界の広がりを期待しています。よろしくお願いいたします。

竹井　香州子

〈各係からのメッセージ〉

☆会員係

支部会員の入退会、住所変更など名簿の管理を会員委員会と密接に連携して行い、「ともしび」、講演会や見学会のお知らせ、事務連絡などの発送用宛名シールを作成いたします。

印刷物が確実にお手元に届きますよう、転居された時は速やかに支部にご連絡をお願いいたします。その他のご変更も連絡よろしくお願いします。

（村木　晴子）

☆講座・見学係

聞いてよかったと思えるような講演会、行って楽しかったと思えるような見学会を目指して新メンバー四人でスタートしました。

会員のみならず、ご友人、ご近所の方々にお声をかけて一人でも多くの方をお誘いくださいますよう、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

また、企画に対するご意見、ご要望をお待ちしています。

（堀内　洋子）

☆バザー係

今年度は岩田、玉澤、大村、三浦でスタートいたしました。ご好評のバッグの注文は引き続きお受けします。思い出の帯、着物などの布でマイバッグはいかがでしょうか。日用品、食品なども従来どおり扱う所存ですが、乾物等の保存が効き、お持ち帰りに手軽なものも考えております。その他、ご希望のものがございましたら、係にご連絡いただければ幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

（三浦　洋子）

☆ともしび係

東京支部会報「ともしび」は年2回発行しています。東京支部の活動をお伝えするだけでなく、支部会員一人ひとりの思いを支部の活動に反映できる場になれば、と願っております。皆様に楽しみに待っていただける会報作りを目標にがんばっていきたいと思っております。ご意見、ご要望をどうぞお寄せください。

（早瀬　暢子）

◆住所変更等のご連絡は事務所までお願いいたします。

◆使用済みの切手を事務所までお送りください。

〈編集後記〉

4月にともしび係をお引き受けして2ヶ月、私たち新委員の「ともしび」初号を発行することができました。原稿を執筆くださいましたみなさま、前任者をはじめ、お世話になりましたみなさまにお礼を申し上げます。東京支部に活気を吹き込むことに少しでもお役に立てればと思っております。

（H・O・S）

ともしび　四四号　発行日　二〇〇八年七月一日　発行　社団法人大学婦人協会東京支部　編集　ともしび係
〒160-0017　新宿区左門町十一番六・一〇一　Fax Tel 〇三・三三五八・二八八二　〇三・三三五八・二八八九　印刷　タナカ印刷㈱